

# アエタ族訪問



川上 博史  
樋山 禎介

- マニラから車で約3時間  
そしてトラックの荷台に乗り45分  
そして歩くこと20分  
(それでも一番近い集落らしい)

- ピナトゥボ山の噴火により被害を受けたアエタ族の人の生活と、そこで活躍するNGOの活動を視察。



# アエタ族の歴史

- ・二万年前フィリピンに移住
- ・16世紀、スペイン人の侵略  
迫害を恐れピナツボに移住

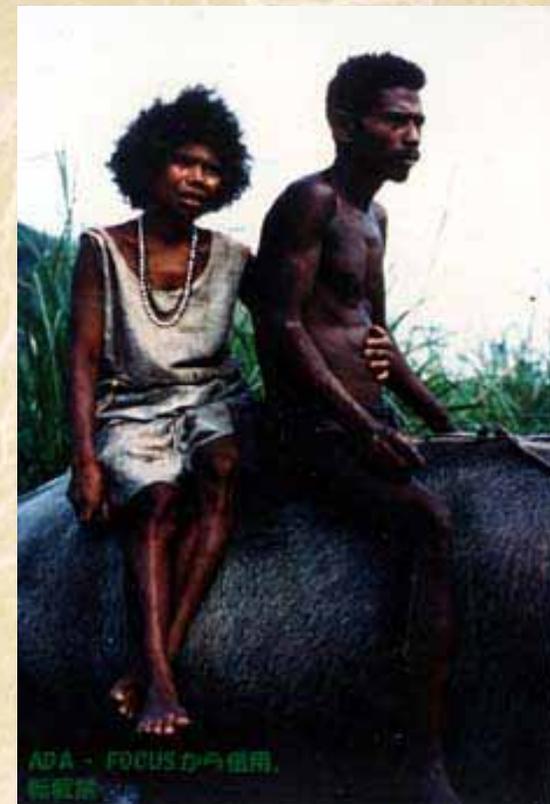


# アエタ族とは

- 人口 約1万5千人 (1990年:推定)
- 言語 サンバル語 (オーストロネシア語族)
- 宗教 ピナトゥボ山を神の山とする精霊信仰
- 外見 黒い肌、低い身長、天然パーマ
- 生業 豊富な森林資源に基づき農業、採集、漁業、狩猟、畜産を多角的に行う(自給自足)

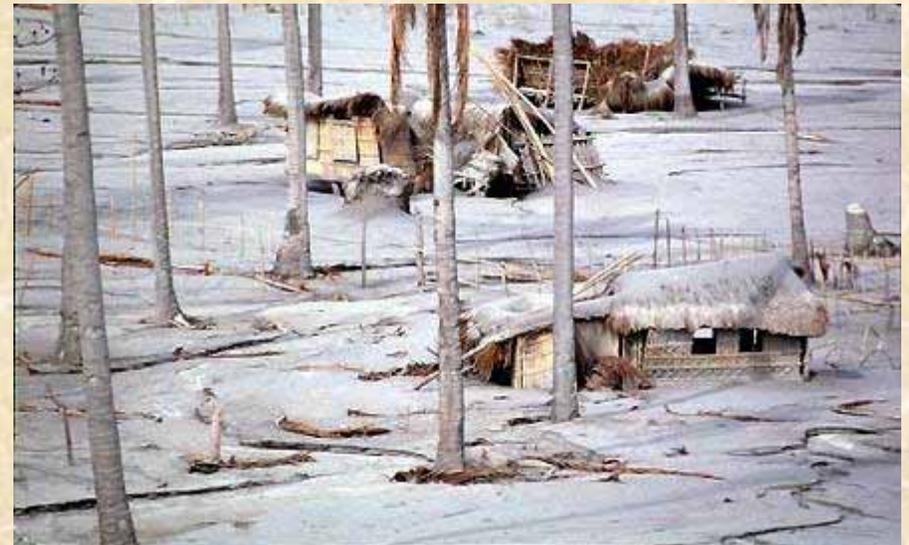
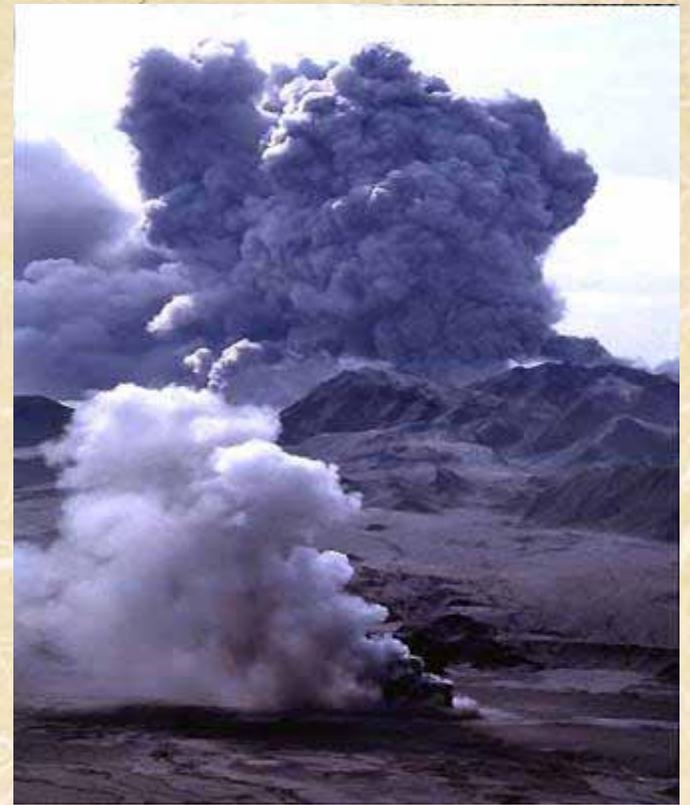
ピナトゥボ火山の噴火で一変！！

自給自足が無理になり平地の人との関わりが必要不可欠に。



# ピナトゥボ山の噴火

- 1991年のピナトゥボ山の噴火の影響により、1000人以上のアエタ族の人がなくなった。
- かつてのアエタ族の村は火山灰の影響で人が住めなくなった。
- それによりたくさんの問題が発生している。



# アエタ族の服装の変化



噴火前はふんどしが一般的



噴火後はTシャツや短パンなど平地と変わらない

# アエタでの生活



家

食事



トイレ



# 歓迎会



村長さんによるタリピと呼ばれる伝統的ダンス。

アエタの子供たち  
と一緒にダンス



# マンゴーの植林

- ・ピナトゥボ山の噴火で積もった火山灰で汚れた山の浄化のため。
- ・少しでも自給自足に近づけるため。

マンゴーの苗



# アエタ族の抱える問題

- ・道路が整備されていなく、物流が困難。
- ・必要なものを買うお金がない。
- ・教育システムがしっかりできていない。

自給自足が崩れ、平地の人との交流が必要になったため重要な問題となっている。



# 問題に対して・・・

自ら好んで山に住んでいるから、そのような問題が生じるのはしかたない。

- ・山で伝統的な生活をしてたひとが平地で突然暮らすのは厳しい。
- ・自給自足ができない中、最終的に山で自立して生活するために。

道路の整備、産業の成育、教育など援助は必要

